

正像/鏡像出力タイプ

サイドビューカメラ SVC260Ⅱ

取付/取扱説明書



このたびはデータシステム製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
●この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。その後大切に保管し、必要な時にお読みください。
●保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

ご相談窓口

☎ お電話 086-486-0442 サービス(技術的なお問い合わせ・修理受付)
【受付時間】月曜日～金曜日 10:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始/祝日など、弊社休業日を除く)

✉ メールでのお問い合わせ

<https://www.datasystem.co.jp/support/index.html>

▶ 製品取付・製品紹介動画サイト

<https://www.youtube.com/user/datasystem001/videos>

Data System 株式会社 データシステム

■ [本 社] 東京都新宿区新宿1-18-2 ■ [倉敷支社] 岡山県倉敷市神田1-1-11
弊社に無断で本説明書の内容・図・写真の全部、または一部の複製(コピー)・転用・転載を禁じます。
SVC260-2-2208-AKN

保証について

●付属の保証書に必要事項をすべてご記入ください。特に販売店印及びご購入日の記入が無い場合、保証書は無効となります。保証期間を有効にするために、必ずユーザー登録をおこなってください。

●配線を通す際にカメラケーブルを切断した場合、配線の再接続不良による故障は一切保証致しません。

※保証期間はご購入日を含めて「1年間」となります(保証対象はカメラのみ。カメラカバーは保証対象外です)。

※ユーザー登録をおこなわない場合、保証期間は無効となります。

※保証規定は保証書を参照してください。

※保証書は如何なる理由があっても再発行致しません。あらかじめご了承ください。

保守部品の保有年数について

この製品は、補修用部品の入手性、修理後の性能保証の観点から修理対応期間(保守部品の保有年数)を製造打ち切り後、6年間に設定しています。
※修理対応期間は目安であり、実際の期間は若干異なる場合があります。修理対応期間(保守部品の保有年数)を終了している製品については、修理のご依頼をお受けできない場合があります。

仕様

カメラ部			
映 像 素 子	1/4インチ スーパーCMOS	有効画素数	32万画素
水 平 解 像 度	450TV本	映 像 信 号	NTSC
水 平 画 角	110°	垂 直 画 角	80°
電 源	DC9～15V	消 費 電 流	約40mA
動作可能温度	-20℃～+65℃	ヒューズ	1A
重 量	約20g(固定金具含む/ケーブル除く)		
出力タイプ	正像/鏡像映像(ガイドライン表示なし)		

カメラカバー部

外形寸法	幅40mm×高さ33mm×奥行き44mm
------	----------------------

- 付属の脱脂クリーナーで必ず脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
- カメラカバーのサイズは、気温や湿度などの影響により若干異なる場合があります。

ご注意

本製品は日本仕様車専用で設計されています。故障や事故などの原因となりますので、海外仕様車への取り付けは絶対におこなわないでください。また、日本国外での取り付け、販売および使用を禁止しています。日本国外で使用されたとしても、弊社は一切の責任・保証を負いません。
This product is designed for Japanese specification vehicle. A serious breakdown and accident might be caused when install it in an oversea specification vehicle. And sale, installation or use outside of Japan is prohibited.The manufacturer is not responsible for use of this product outside of Japan.

注意事項の定義について

注意事項は「**⚠危険**」、「**⚠注意**」、「**⚠警告**」、「**⚠重要**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠危険	守らないと、死亡や重傷などの重大な結果に結びつく可能性が高いもの
⚠注意	守らないと、車両及び製品を破損、または故障させる恐れがあるもの
⚠警告	守らないと、法律に違反する恐れがあるもの
⚠重要	本製品を使用する上で知っておいていただきたいこと

使用上の注意

⚠運転者が走行中に画像表示装置(テレビ画面など)を注視することは、道路交通法で禁じられています(道交法第71条)。

⚠カメラ映像はドアミラーやバックミラーなどと同様に、あくまで車の安全をサポートするためのものです。本製品使用時は、必ずドライバー自身が直接周囲の安全確認をおこなってください。

⚠カメラ映像は、視野角やレンズ形状などから実際の距離とは距離感が異なります。

⚠カメラに電源が入った直後や、カメラの使用中にカメラ映像の明るさや色あいが変化することがありますが、これは周囲の明るさをカメラが検知し映像補正するために発生する症状ですので、故障ではありません。

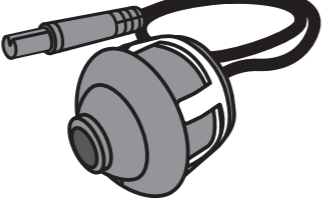
⚠自動洗車機などによる高圧洗浄はおこなわないでください。内部に水が浸入して故障の原因となる場合があります。

⚠本製品のカメラは、必ずカメラカバーとセットで車両に装着してください。

⚠本製品を使用して発生した事故、違法行為、車両の故障または破損などの責任は一切負いません。

内容物一覧

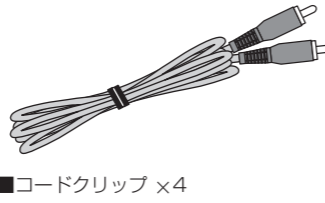
■カメラ(ケーブル長4m) ×1



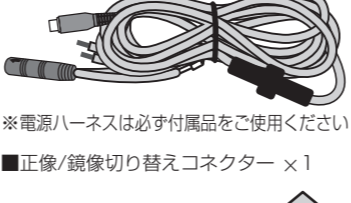
■カメラカバー ×1



■ピン端子ケーブル ×1



■電源ハーネス(3m) ×1



※電源ハーネスは必ず付属品をご使用ください

■正像/鏡像切り替えコネクタ ×1



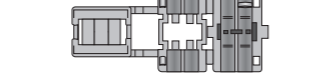
■コードクリップ ×4



■延長ケーブル(1m) ×1



■エレクトロタップ ×2



■カメラカバー固定用両面テープ ×2

■取付/取扱説明書(本書) ×1

■保証書
ユーザー保証登録カード ×1

取り付け上の注意

⚠注意 ●電源ハーネスは必ず付属品を使用してください。付属品以外は使用できません。

⚠本製品は12V車専用です。

⚠製品の取り付けは、必ず専門の知識・設備のある取扱業者でおこなってください。

⚠取り付け作業前に、必ずバッテリーマイナス端子を外して車両側の電源を遮断してください。電源を遮断しない状況での取り付けは、ショートや感電など重大事故につながります。ただし、バッテリーマイナス端子を外す前に、消えると困るラジオのメモリー内容などをメモしておき、取り付け完了後に再入力してください。入力方法については機器の取扱説明書をご参照ください。

⚠車両側及び本製品の配線を傷つけないよう、配線の取り直しには十分ご注意ください。また、車内に水が浸入しないよう適切な配線処理をおこなってください。

⚠本製品の分解や改造は絶対におこなわないでください。

⚠車体から脱落しないようしっかりと装着してください。

⚠配線を通す際にカメラケーブルを切断した場合は、必ずハンダを使用して1本ずつ配線同士を接続した上で、それぞれ収縮チューブで絶縁してください。ハンダ以外を使用すると、断線や接触不良の原因となります。

⚠電源ハーネスは切断して使用しないでください(延長は可)。電源ハーネスには電源回路およびヒューズが接続されていますので、これらを切断してしまうと正常動作しなかったり車両側の故障の原因となります。

⚠付属のピン端子ケーブルの長さが足りないときは、別途延長ケーブルをご用意ください。

⚠電源ハーネスのアース線は、塗装などが施されていない(金属が露出している)場所に接続してください。アース不良が原因で、本製品が正常に動作しない場合があります。

⚠シートレールやペダルなどに噛み込まれたり、挟まれる可能性のある場所など、運転に支障をきたす場所には本製品を絶対に設置しないでください。

⚠本製品取り付けの際、静電気の帯電にご注意ください。静電気の放電によって機器が故障するおそれがあります。

⚠配線部分は絶対に引っ張らないでください。断線、接触不良を引き起こすおそれがあります。

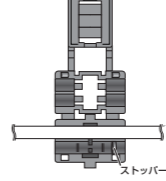
カバーの塗装について

⚠本製品のカバーはABS樹脂製です。塗装には専門の知識が必要ですので、専門業者に依頼してください。

エレクトロタップの使い方

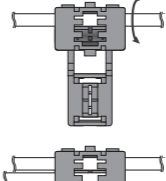
⚠注意 ●接続後、テスターを使用して確実に接続されているか確認してください。接続が不完全の場合、動作不良の原因となります。

1.接続される車両側配線にエレクトロタップを合わせる

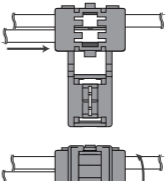


2.エレクトロタップのカバーをしっかりと閉じる

※プライヤーなどを使用して、確実にカバーを閉じてください

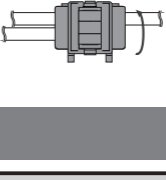


3.接続する配線をエレクトロタップのストッパーに当たるまで差し込む



4.エレクトロタップの接続用カバーをツメのロックがかかるまでしっかりと閉じる

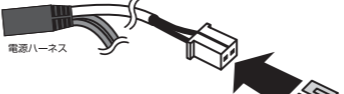
※プライヤーなどを使用して、確実にカバーを閉じてください



鏡像/正像切り替えについて

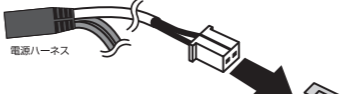
⚠注意 ●カメラに電源が入った状態で、正像/鏡像切替コネクタを取り付けたり取り外したりしないでください。

鏡像で使用する場合



正像/鏡像切替コネクタを取り付けます。

正像で使用する場合



正像/鏡像切替コネクタは使用しません。

使用方法

⚠注意 ●純正ナビの外部入力に接続して使用する場合、当社製TV-KITまたはTV-NAVI KITが別途必要です。これらを使用しないと、走行中にカメラ映像を画面で確認できません。

【推奨】

●当社製「マルチカメラスプリッター(MCS296)またはマルチカメラスイッチャー(CSW298)」を使用する場合
各製品の取扱説明書を参照のうえ、ご使用ください。

●当社製「サイドカメラ入力ハーネス」を使用する場合

サイドカメラ入力ハーネスの取扱説明書を参照のうえ、ご使用ください。

●ナビやモニターに直接接続して使用する場合

別途切替スイッチが必要です。使用する際に切替スイッチを操作してナビやモニターにサイドカメラ映像を映します。

※接続方法によっては、本製品を使用する際にナビやモニターを外部入力画面に切り替える必要があります。

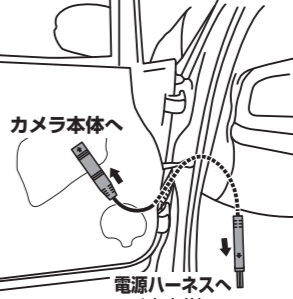
メンテナンスについて

⚠カメラ及びカメラカバーは、ベンジン・シンナー・ガソリン・アルコールなど揮発性がある薬品類で拭かないでください。変質・変形等の原因となります。

⚠レンズは定期的に、または汚れていたらきれいに拭いてください。但し、拭く際は柔らかい布などに水を含ませ軽く拭く程度にしてください。強くこすったり乾いた布などで拭くと傷の原因となります。

延長ケーブルの使い方

付属のケーブルで、カメラのケーブルを延長できます。ゴムブーツ部分に使用すると、取り付けやメンテナンスの際に便利です。必要に応じてご使用ください。



⚠注意

ケーブル取り付けの際、次のことにご注意ください。

●ケーブルの端子に、水がかからないようにしてください。
ケーブルのコネクターは防水仕様ではありません。

●ドアガラス動作の妨げにならない位置を通してください。
ドアガラスに干渉すると、配線が断線するおそれがあります。

故障かな?と思ったら

❓ 画面がカメラ映像に切り替わらない。

●純正ナビに取り付けた場合

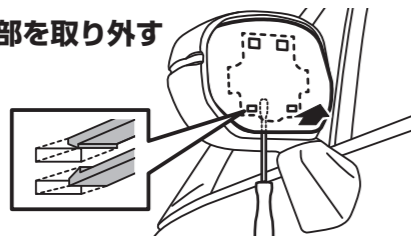
当社製 サイドカメラ入力ハーネス を使用して接続	・カメラのヒューズ及びコード類の接続をご確認ください。
ビデオ入力端子に接続 当社製 ビデオ入力ハーネスを使用 して接続	・走行中にカメラ映像を映すには、当社製のTV-KITまたはTV-NAVI KITが必要です。 ・画面をビデオ入力に切り替えていますか? ・カメラのヒューズ及びコード類の接続をご確認ください。

●市販ナビ・市販モニター(バックミラーモニターなど)に取り付けた場合

外部入力端子に接続	・画面を外部入力に切り替えていますか? ・カメラのヒューズ及びコード類の接続をご確認ください。
-----------	--

取り付けの前に

1. ドアミラーのミラー部を取り外す



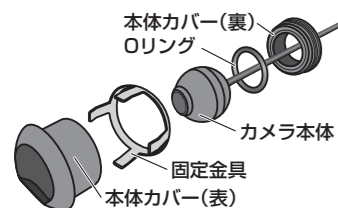
注意 ●ドアミラーの構造を確認してから取り外してください。無理に作業すると、ミラー取り付け部が破損する恐れがあります。

2. 「配線を通す穴があけられるか」、「配線を通すスペースがあるか」を確認する

配線を通す場所は「取り付け方法」の8～11をご参照ください。
配線を通す穴があけられない構造の場合や、配線を通すスペースがない場合は、本製品を取り付けできません。

カメラの構造について

本製品のカメラ部は、下図のようにカメラ本体をOリングに押し付けて固定する構造になっています。
本体カバーの締め具合でカメラ本体の動きを加減できます。



重要

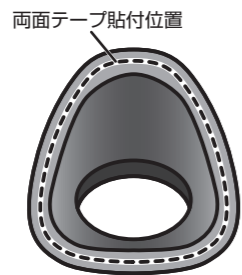
分解する際は、部品を紛失しないようご注意ください。

●Oリングにグリスを塗布すると、カメラ本体がスムーズに動きます。

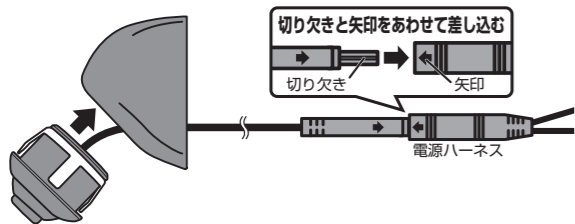
3. 付属の両面テープをカメラカバーに貼り付ける

重要

- 必ず付属の脱脂クリーナーで脱脂してから両面テープを貼り付けてください。
- 両面テープの保護シートは、まだはがさないでください。

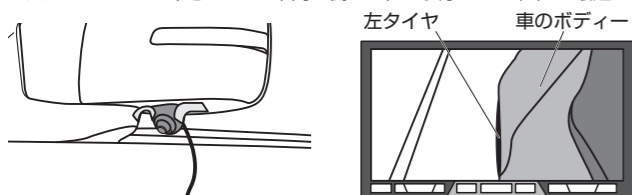


4. カメラにカメラカバーを取り付け、電源ハーネスに仮接続する



5. カメラ映像が映せる状態まで車両を復元し、カメラを仮装着してカメラ映像を確認する

ドアミラー下部の平らな場所に、マスキングテープなどで仮装着してください。カメラ映像を映し、おおよそのカメラ位置を確認してください。タイヤがモニターの中心にあり、車両左側が垂直に表示される位置が最適です。



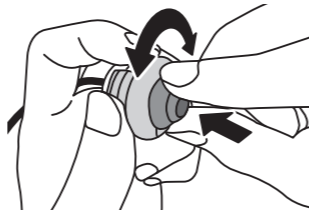
6. 仮装着した場所をマーキングしてから、カメラを一度取り外す

取り付け方法

1. カメラ本体の動きを確認、調整する

1-1. カメラ本体が適度な手の力で動くか確認します。

●カメラ本体を軽く押すと、動きやすくなります。



1-2. 動かない場合や、軽い力で動いてしまう場合は、本体カバーを回転させて調整します。

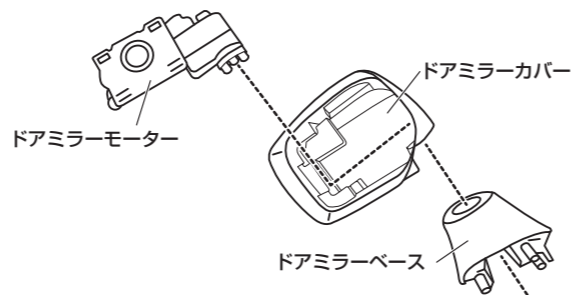


7. ドアミラーを取り外す

ドアミラーの取り外しかたは、車両販売店などにお問い合わせください。

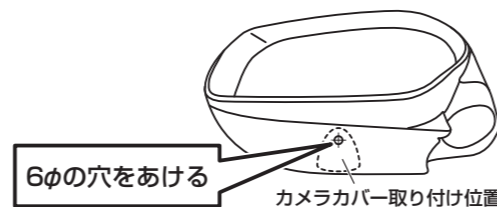
8. ドアミラーを分解する

●下図はイメージです。ドアミラーの構造は車種によって異なります。



注意 ●ネジにゆるみ防止剤が塗布されている場合があります。取り外す際にネジを破損しないようご注意ください。

9. カメラカバー取り付け位置の適度な場所に、6φの穴をあける

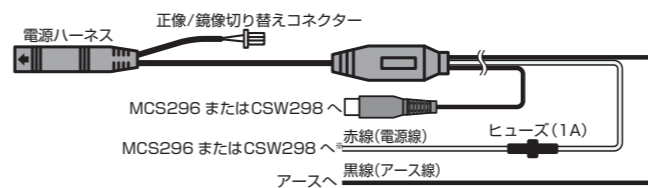


注意 ●カメラケーブルを通した時に、ミラーの動作に影響がない位置に穴をあけてください。

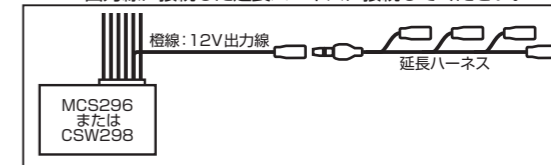
2. 電源ハーネス、ピン端子ケーブルを車両に取り付ける

本製品を接続する場所により、配線の接続方法が異なります。下記を参考に配線を接続してください。

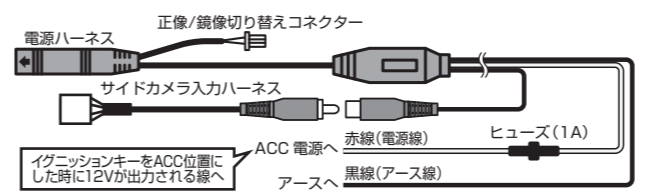
当社製「マルチカメラスプリッター(MCS296)またはマルチカメラスイッチャー(CSW298)」を使用する場合



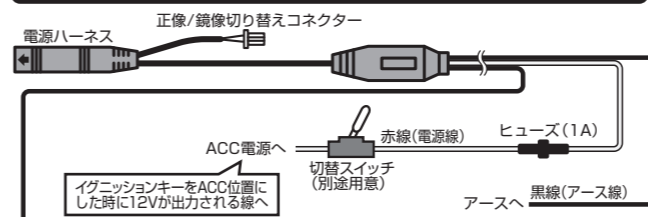
※12V出力線に接続した延長ハーネスに接続してください。



当社製「サイドカメラ入力ハーネス」を使用する場合



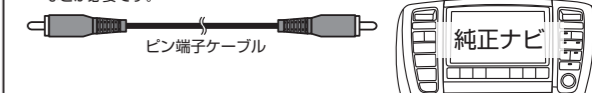
ナビやモニターに直接接続して使用する場合



●純正ナビ(ビデオ入力端子あり)に取り付ける場合*

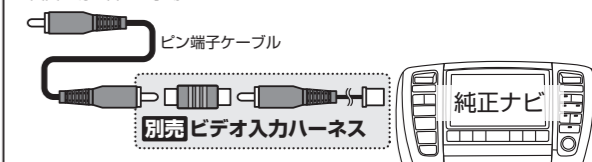
走行中にカメラ映像を映すには、別売の当社製TV-KITまたはTV-NAVI KITが必要です。画面の切り替えは手動でおこなってください。

※車両にビデオ入力端子がない場合は、別売の当社製ビデオ入力ハーネス(適合車種のみ)などが必要です。



●純正ナビ(当社製ビデオ入力ハーネス)に取り付ける場合

走行中にカメラ映像を映すには、別売の当社製TV-KITまたはTV-NAVI KITが必要です。画面の切り替えは手動でおこなってください。



●市販ナビやモニターに取り付ける場合



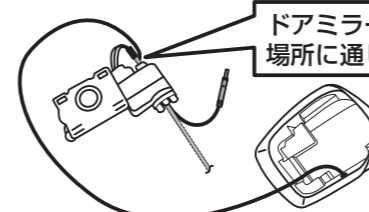
10. カメラカバーに貼り付けた両面テープの保護シートをはがし、カメラカバーを本装着する

●寒い時期はドライヤーで暖めると密着しやすくなります。



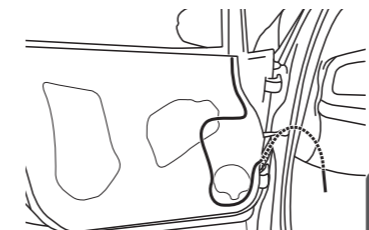
11. ミラーの動作に影響がないようにカメラケーブルを取り回し、ドアミラーを復元する

ドアミラーモーターの配線と同じ場所に通してから組み立てる



●ドアミラーモーターの配線と同じ場所に通すと、きれいにカメラケーブルを配線できます。

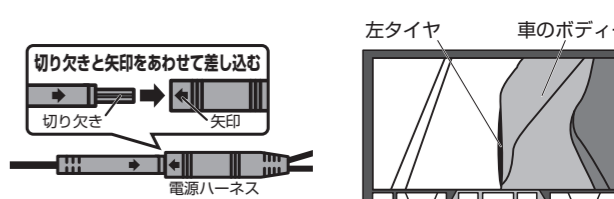
12. ドアミラーを車両に取り付け、カメラケーブルを取り回して車内に引き込む



必要に応じて、付属の延長ケーブルをご使用ください。

注意 ●窓ガラスの動作に影響がない位置にカメラケーブルを通してください。

13. カメラケーブルを電源ハーネスに接続し、カメラの角度を調整する



14. 車両を復元し、作業完了。

取り付けの後に

車両の装備によって、バッテリーのマイナス端子を外すと、設定が消去されて動作しなくなるものがあります。その場合は次の方法で初期設定をおこなってください。

パワーウィンドウ	それぞれのドアスイッチで全開状態から全閉状態にし、さらに5秒以上、閉方向に操作し続ける
電動スライドドア	スライドドアを手動で全開、全閉する
サンルーフ	ルーフ動作が一巡するまでマルチアップボタンを押し続ける
バックガイドモニター	平坦な場所に停車し、バックモニターを表示させた状態で左右両側にステアリングを一杯に切る
パワートランクリッド	トランクを手動で全開、全閉する